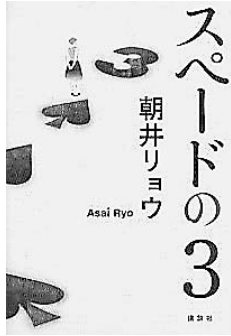




満願

人を殺め、静かに刑期を終えた妻の本当の動機とは。表題作をはじめ、交番勤務の警官や在外ビジネスマンなどが遭遇する六つの奇妙な事件を描いたミステリ短編集。

米澤穂信著 (新潮社)



スピードの3

女優のファンクラブまとめ役という地位にしがみついている美知代。地味で冴えないむつまじい。かつての栄光は見る影もない女優のつかさ。人生を動かせるのは自分自身だけだと気付く女性たちを描く。『小説現代』連載を単行本化。

朝井リヨウ著 (講談社)



おじいちゃんとのやくそく (小学校1・2年用)

児童書新刊

なかよしだったおじいちゃんが亡くなり、悲しくてたまらないのぞみ。ある日、夢の中に現れたおじいちゃん、「おじいちゃんの木に何でも話す」と約束したのぞみは、おじいちゃんの木にいろんなことを話して…。

石津ちひろ文 (光村教育図書)

5/17 ゆめっ子のおはなし会

とき 5月17日(土) 午後1時30分から
ところ 社会教育センター 幼児遊戯室
対象 小学校低学年、幼児
問合せ 社会教育センター図書室 28・5449

5/31 図書室休館のお知らせ

資料の整理のため、5月31日(土)は、図書室をお休みします。6月1日(日)からは平常どおり利用できます。▶問合せ 社会教育センター図書室 28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己選

人間の昏きところへ春の風 岡島 齋

どこかしこ土ふくらみて露のたう 杉浦みどり

さわやかなにが味ひろがる摘菜かな 小塚美枝

かたくなにひき戸閉ざして根雪かな 石黒貴代子

頬を切る風にハミング彼岸かな 杉本 衿子

穏やかに囁きかけし木の芽雨 坪井 径子

いつからかここにも春が来てるたり 田村多喜子

ふわりふわり空いっばいに春がある 高木須磨子

菜の花や時を違えず黄に染めし 坪井 昭子

雛菊や少女は風を見つめけり 村上ゆり子

人の世に寄り添ふやうに春の雨 青山克己

豊山歌壇

水野笑子選

縁結ぶ絵馬は次男の代理にて 井上とよほ
紅き柄結び確と掛けたり

老いてこそしつかり生きよ背を伸ばし 木村 和子
気力体力能力の保持

「鶴の恩」の昔話しにめぐり合ひ 小出 寿枝
今さら学ぶ人の恩義を

我が国の未来は如何にこれからの 近藤 時峰
日本を担ふ若者達よ

尺八の澄める音色に合吟す 佐藤 良子
「寒梅の曲」心にひびく

花展には寒さの中を手際よく 柴田 満枝
活け込む夫の情熱もやして

不自由なる手足となりて生きをれど 鈴木 久子
義母の心に安らぎあらうか

寒くともお日さま笑へば温くあり 鈴木 弘香
ふつくら雀も寄りそふ日向

証城寺のぬり絵の女狸赤リボン 水谷 弘子
マスカラ濃ゆくし今様にする

去年今年古希も過ぎゆきあと幾つ 水野 勝代
残りの人生数ふも虚しき

編集後記

保健センターのおすすすめするウォーキングコースを、休日に歩いてみた。明るい日差しのおかげ、路肩に咲いているたんぽぽは風に揺れ、蝶は舞い踊る。新しい建物、気付かなかった石碑など新たな発見を堪能し、また、まちの未来を思いながらおよそ五十分、約三・五千口のコースを約五千歩で歩いた▼今月号の特集で掲載した「第二次とよま健康づくり(二十一計画)」では、生活習慣の見直しの一環として、楽しく歩くことを推奨している。全部で五つのウォーキングコースを紹介したマップも保健センターでお配りしている。時間のない方は、家事などの生活活動を増やしたり、ちよつとした移動のときに歩いたりすることで生活習慣病の予防につながるそうだ▼家族や仲間と歩くことより一層楽しいだろう。保健センターでは、定期的にウォーキング体験事業を開催しているので、参加してみるのもよい。新たな絆や、歩いたことのないコースとの出会いもあるかもしれない▼どんなに高価な健康器具やサプリメントを使っても、心が躍らなければ健康にはつながらない。健康づくりには、「やる気」と「根気」、そして何よりも「楽しむ」が必要だ。